



JAMCA ニュース

No.80

2014 年 1 月 1 日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大塚町 31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

これからの自動車整備技術者に求められるもの

静岡工科自動車大学校校長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

平井 一史

自動車技術の高度化

近年、自動車の安全・環境性能の向上に伴い、日進月歩で進化し続ける自動車の機能や構造は、ますますハイテク化・複雑化し、特に電子制御による新技術の利用が広がっています。これらの優れた性能を維持するためには、適切な点検整備を行うことが重要であり、故障を診断し必要な整備を効果的に行うことができる汎用型のスキャンツールの普及や、整備技術者の技能向上等、人材育成が求められており、同時に環境保全の観点から自動車の整備ニーズが高まる傾向にあります。これら社会的に重要なテーマを担うべき技術者こそが、私共自動車大学校を巣立った学生たちです。

昨年の統計では約 7,600 万台が日本で走っている自動車の台数であり、自動車はまさに私たちの生活の一部であると言っても過言ではありません。だからこそ、いつでも安心・安全に走行できるよう点検や整備を行うことが必要不可欠であり、この業に携わる技術者は日々の最先端技術の習得や鍛錬が欠かせません。併せてお客様に適切なアドバイスができるコミュニケーション力が、お客様との架け橋になり心の予防やケアにもつながります。



一級自動車整備士の必要性

一級自動車整備士の基本コンセプト (JAMCA) は自動車産業全般で活躍するリーダーの育成でありその実現のための柱は、まず電子制御装置や振動・騒音の発生メカニズム、そしてそれに対応した故障診断技術を習得、つぎに品質管理の検証や点検・整備内容の説明・整備後の支援体制やユーザーの使用実態・使用環境などに基づく情報収集および総合診断の実施の整備計画などが作成できることです。つまり、次世代自動車に対応した各種の整備用診断機器を使って応用的な故障探求ができる高度な整備技術のほか、お客様との対話技術などを兼ね備え、また地球規模の環境保全と安全管理について理解し行動できるハイレベルの技術者を必要とする時代の到来です。

一級自動車整備士の役割

今、ハイブリッド自動車や電気自動

車など、地球にやさしいエコカーに人気が集まっています。また、エアバックや ABS などの装置は標準化され、近年では衝突被害軽減ブレーキや、ペダル誤発進抑制制御など安全のための技術 (ASV) が普及し、そのほか、常に最先端の情報通信を活用して道路交通の最適化を図る ITS (高度道路交通システム) の普及などにより、自動車はますます便利になり賢くなっています。この進化し続ける自動車は、より高度なコンピュータ制御をはじめ、これまでにはなかった新しい技術が次々と取り入れられているため、昔ながらの経験と勘に頼るだけの整備手法には限界があります。その一方で幅広い知識とマナーを身につけた親しみやすさや、専門的な説明をわかりやすく伝え、的確にアドバイスできる対話能力が求められています。このような要望に応えるのが一級自動車整備士であり、グローバルに発展してゆく日本の自動車産業界で、スーパーエンジニアとしての条件を備えた唯一の技術者であることに自信と誇りを持って、お客様の自動車が快適に走行できるよう、安心と安全を守るべき期待に応えなければなりません。

CONTENTS

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 2 面 | デジタル教材の方向性 |
| 3 面 | 我が校自慢 |
| 4 面・5 面 | リメディアル教育の必要性について
協会トピックス |
| 6 面 | 活躍!! 卒業生・地区通信 |
| 7 面 | 私の教材活用・お知らせ |
| 8 面 | 編集後記 |